

## 河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成21年度採択テーマ

### 事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
超濁度水発生機構の解明と防止に向けた現地試験および現場での採泥分析を用いた土砂輸送に関する研究(研究期間:H21年~H23年)	北見工業大学 中山 恵介	A
<b>&lt;研究概要&gt;</b> 本研究では、細粒土砂発生量の推定のための観測手法について検討を行った。畑地と林地を利用して現地からの細粒土砂発生量の現地観測手法を提案した。GISを利用して分割された小流域において採泥を行い、蛍光X線を利用した元素分析によりその小流域から流域下流端への細粒土砂の輸送割合を推定するモデルを開発し、分布型流出モデルにより高精度な細粒土砂の再現計算を実施した。		
<b>&lt;事後評価コメント&gt;</b> 本研究では、緻密な現地調査を行い、耕作方法の違いによる定量的な土砂輸送量の推定モデルの開発に反映するとともに、撮泥による元素分析等により、土砂輸送量の推定方法を確立していることから、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。 今後、元素分析のトレーサーとなる元素の特徴と意味を明らかにし、更に研究を進められることを期待する。		

#### ※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い